

# 平成21年北署管内労働災害発生概要

特集

## 死傷者903人、うち死亡9人

### 名古屋北労働基準監督署

平成21年の名古屋北労働基準監督署管内における労働災害による死傷者は、903人で昨年より161人減少した。内訳は死亡災害が9人と3人減少し、休業4日以上の労働災害も158人減少した。

平成20年度にスタートした「名北署第11次労働災害防止推進計画」は、平成24年度において、死亡災害は8人を大きく下回り、労働災害は15%以上減少（895件）

定期健康診断結果の有所見率の増加傾向に歯止めをかけ減少させることを目指しております。

平成21年の死亡災害について見る

業種別では、製造業では取扱中の鋼材が頭部に落下して1人。運輸業では昨年の4人から5人と増加した。第3次産業では3人となつたが、建設業においては、当署で統計を取り始めて以来初めて「死亡災害ゼロ」を達成しました。

死亡災害の発生状況は「平成21年死亡災害発生状況」に示すとおりで、交通事故によるものが5人、飛来・落下が3人、墜落・転落によるものが1人となつてました。

交通事故の内訳は、運送業で2人、新聞販売業で2人、警備業で1人となつていて。毎年交通事故による被災者が高い割合を示す運送業では、この数年飛来・落下等によるものが増加しており、特に取扱中の積み荷が作



業中の運転者に落下し死亡する事故が発生しています。

ます。

いずれの災害についても、危険源を適切に評価し、必要な措置を講じていれば防ぐことが可能な災害といえるのではないでしようか。

建設業では81人中39.5%の32人が「墜落・転落灾害」で多くは仮設物や建築物からの墜落・転落であった。次いで「飛来・落下灾害」の11人となつてました。

建設業では196人中

32.7%の64人が「はさまれ・巻き込まれ災害」で、

25.6%の34人が「墜落・

転落」で、次いで「交通事故」が24人、「激突」

17人、「転倒」16人、「は

さまれ・巻き込まれ」13人となつてました。起因物はトラック等の動力運搬

894人について見ると

製造業では196人中

32.7%の64人が「はさま

れ・巻き込まれ災害」で、

13.3%となつてました。

みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心

第83回全国安全週間スローガン

機械や乗り物によるもの  
が多かった。

製造業、建設業等ほぼ  
全業種で減少したが、運  
輸業や第3次産業の接客  
娯楽業、清掃業では連続  
して増加傾向となつてい  
た。第3次産業における  
内容は「転倒灾害」、「墜  
落・転落災害」、「交通  
事故」が高い割合を占め  
ていた。

いまだに在来型の災害  
が多発していることにつ  
いては、各事業者がリス  
クアセスメントの基本的  
な考え方を理解し積極的  
に取り入れ、危険源・有  
害源を的確に評価し、必  
要な対策を講ずることが  
成のために必要不可欠で  
あるといえます。

そのためにも各事業場  
のトップが「安全衛生基  
本方針を表明」し、全社  
一丸となつて労働災害防  
止に取り組むことが必要  
です。

## 平成21年 死亡災害発生状況

名古屋北労働基準監督署

業種	年齢	事故の型	起因物	災害の概要
一般貨物自動車運送業(3月)	60	飛来・落下	その他の動力運搬機	電柱運搬車の荷台からコンクリート柱の荷降ろし作業中、コンクリート柱を締め付けていたワイヤロープが緩み落下し、被災者の頭部を直撃したもの。
新聞販売業(4月)	63	交通事故	トラック	名古屋市守山区茶臼前の県道交差点で、被災者はミニバイクを運転し新聞を配達中、右側から来たトラックと出会い頭に衝突し頭などを強く打ち、間もなく死亡したもの。
新聞販売業(7月)	67	交通事故	乗用車	春日井市岩成台団地内の通路にワゴン車を停車させ、朝刊の束を下ろしていた被災者は、サイドブレーキを掛け忘れたため、動きだしたワゴン車に轢かれ死亡したもの。
その他道路貨物運送業(8月)	25	飛来、落下	その他の材料	春日井市内の建設現場に建設用資材を運搬し、現場到着後資材の荷降ろしのためトラックのサイドのアオリを開けたところ、積み込んであった資材が落下し、後方に転倒した被災者は後頭部を強打し搬送先の病院で8月20日死亡したもの。
その他金属製品製造業(10月)	56	飛来・落下	クレーン	事業場内において、金型取り付け板（鋼鉄製：約250kg）を天井クレーンのフックに取り付けてあるリフティングマグネットで吊り上げ、研磨機のテーブル上に移動作業中、リフティングマグネットから金型取り付け板が外れ被災者の頭部に激突し死亡したもの。

ハイヤー・タクシー業 (12月)	62	交通事故	トラック	国道41号線（名古屋市北区）で、直進してきたトラックと右折しようとした被災者が運転するタクシーが出会い頭に衝突し、タクシーの運転手と助手席の乗客が死亡し、後部座席の乗客3名が負傷したもの。
警備業 (12月)	34	交通事故	トラック	名古屋市瑞穂区区内の住宅解体工事現場において、交通誘導業務に従事していた被災者は、解体業者が斜度約10度の傾斜地に停車させたトラックが動き出したため、トラックを停車させようとトラックの前方に回り込んだが道路上でひかれたもの。
一般貨物自動車運送業 (12月)	48	交通事故	トラック	山梨県韮崎市内の中央自動車道西宮線上り車線を中型トラックで走行中の被災者は、前方で大型トラックと大型保冷車が衝突事故を起こし、道路上に停車していた大型保冷車に衝突し死亡したもの。
一般貨物自動車運送業 (12月)	46	墜落・転落	その他の設備	コンクリート製造会社に設置されている「貯水タンク（高さ18m、直径3m）」内外の清掃作業に、同僚ら7名とともに従事していた被災者は、タンクの底に堆積した生コン（深さ約2m）をスコップで排水口からかきだそうとして生コンの上に降りたところ、生コンに埋まり死亡したもの。

